

委員から事前に寄せられた意見

平成 30 年度

市川市市政戦略会議

答申（鑑）案について【資料2】

<<鑑文全体について>>

内容	委員名
全体の構成等、良いと思います。 後半部分『市役所文化を変革するために、「〇〇」・・・』〇〇に浮かんだ言葉は、「市民目線」でした。	阿部委員
全体の感じとして、最初のページですから、もう少しソフトな文のほうが良いに ではないでしょうか。	釜堀委員
「AI等の新技術の導入を積極的に導入すること」とあるが、「導入」が重なっ ているので、「AI等の新技術を積極的に導入すること」としてはどうか。	小林委員
委員による議論の成果も反映されて、全体的によくなってきていると思います。 良いBASICS、答申書たたき台を作成し、委員間の様々な意見をまとめてい ただいた事務局のご尽力に敬意を表します。ありがとうございます。	松永委員

答申書（別紙）案について【資料3】

<< 「Ⅰ. 本答申の背景と目的」 【資料3 1～4ページ】 >>

頁	行	内容	委員名
1	24	「職員構成に急速な変化が見られる」とあるが、一般的に急速とは1日、一か月、長くて半年くらいのスパンであり、15年後の変化に対して急速という言葉が使われるのだろうか。	澤田委員
1	14・30	ここに業務増という言葉が使われていますが、業務が増えることよりも、むしろ業務の性質が変わることのほうが重大ではないでしょうか。業務増だけでなく「業務の質」が変わるという言葉を並行して入れるのが良いのではないかと思います。	釜堀委員
2	10・26		
2	11	社会面 「働き方改革関連法成立による」を削除。 理由：働き方改革は、少子高齢化、過労死問題、企業の生産性向上課題、労働者の意識の変化など、様々な要因が背景となって「社会的要請」となっているため。法案の成立だけが、社会的要請の背景なわけではないため。	松永委員
2	18・21	「平成43年度」という表記を削除し、「約4割（平成28年度）→約5割見込」などとしてはどうか。	小林委員
		平成43年度 を西暦に変える。 理由：来年5月をもって改元され、平成43年は存在しないため。次の元号がわからないため、便宜的に平成を使うという庁内ルールでしたら、原案通りで構いません。	松永委員

<< 「Ⅱ. 業務効率の向上について」 【資料3 5～9ページ】 >>

頁	行	内容	委員名
7	12	具体的な「ルール」を「規範」に変える。 理由：BASICS自体は、規範、手本であり、ルールではないため。以前の会議で、BASICSの庁内における位置付けは、厳密に言えば規則や規程ではなく、マニュアルに相当するという議論があったと思います。 その2行上は「ルール」のままで良い。BASICSが提示する規範・手本を参考にして、各職場で業務効率化等に向けた新たなルール作りが進むことを期待しています。	松永委員
8	31・32	「検討するなど実践を取り入れる」とあるが、ブレストなどは実践ではなく、問題解決のための方法なので、「検討し、実践に結び付ける」としたらどうでしょう。	澤田委員

<<「Ⅲ. 職場環境の整備について」 【資料3 10～13ページ】 >>

頁	行	内容	委員名
11	12～	<p>《個人》と《組織》の切り分けがよくわからないので、以下のように文章を変えた上で、《個人》と《組織》の中の項目を、その項目を実際に行う主体ごとにまとめて、並べ替えることが良いのではないだろうか。例えば、下記は、①自分でやること、②周囲（管理職）がやること、という2区分に4項目をわけた上で、①②の順で並べた。</p> <p>そこで、《個人》のモチベーションを高め、支えるような《組織》が構築できるような自発的な取組や周囲からの働きかけが必要ある。</p> <p>《個人》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前向きに仕事をしていくために、プラス思考で考えていく習慣をつける。 ・職場内にコミュニケーションが生まれるように自ら挨拶することを心がける。 ・個人に責任と裁量を持たせ成果を公正に評価することで、インセンティブを与える。 ・仕事に対するプライドや自信をつけるために、まずは、仕事への興味を持たせる。 	坂爪委員
11	26	「よりよい雰囲気を生むよう」とあるが、ふつう「よりよい雰囲気生まれるよう」と表現するのではないのでしょうか。	澤田委員
11	28	市民貢献（仰々しいので）→ 市民サービスの向上	阿部委員

<< 「IV. 将来の行政のあり方について」 【資料3 14～18ページ】 >>

頁	行	内容	委員名
17	15	12行目において、「職員の顧客は市民である」を説明文に入れてあるので、キーフレーズは、答申（鑑）案で、浮かんだ言葉、「市民目線」を提案しますが、きっと他にもっと良い言葉があると思います。	阿部委員
17	30	そのためには県庁や中央省庁への人事交流等、外の空気を吸うことができる仕組みが必要である。 外の空気を吸うことができる仕組みというのであれば、公共団体だけでなく民間企業等も加えるのはどうか。	阿部委員
		人事交流は県庁や中央省庁だけでなく、民間企業や非営利団体も対象としたほうがよいのではないか。	小林委員
18	6	「出来る市民サービスを」とあるが、何を言おうとしているのかわかりにくい。できない市民サービスもあるということだろうか。「出来る」はなくてもよいのでは。	澤田委員